

太宰府市短歌 ポスト第百二十四期

入選歌 (令和六年十一月二十二日)

撰者 竹森 祐彦

万葉の歌碑を訪ねて乗るバスのまほろば号にわれは旅人

糸島市 森脇由利子

ひっそりと観世音寺に彼岸花沙弥満誓の歌碑に佇む

福岡市 白井 道義

幼き日母と歩いた参道に大人になりて子供と歩く

糟屋郡 森下 真由美

ひとすじの光が導く太宰府へ白い衣が輝きをます

神奈川県 山田 楓

仮殿の上をまはれるつばくらめ願つてゐるか家内安全

大野城市 染川ゆり

小中学生の部

青々と空に咲く梅ながむればまたくるとしも春な忘れそ

東京都 佐藤 怜